

令和4年度

教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書

令和5年11月

玉野市教育委員会

目 次

基本方針	1
令和4年度 重点施策の体系	2
玉野市教育委員会の機構及び事務分掌	3
令和4年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	4
(2) 令和4年度教育委員会会議の開催状況	4
(3) 教育委員会議決案件	5
(4) 教育委員懇談会	7
(5) 教育委員学校等視察	7
(6) その他の活動	7
令和4年度教育費決算額	8
令和4年度主要推進事業に関する自己評価	
事業一覧	10
Ⅰ. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実	13
Ⅱ. 心豊でたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進	21
Ⅲ. 生きがいにあふれた人生を育む生涯学習の振興	40
令和4年度就学前園・学校の施設整備等について	50
令和4年度社会教育施設整備等について	50
学識経験者による意見	51

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和4年度 基本方針

今日、市民は、学習活動や文化・スポーツ活動、ボランティア活動等への参加を通じて、心身ともに健やかで、生きがいと喜びに満ちた豊かな人生の実現を目指しています。

このような市民の願いを受け、玉野市教育委員会は、「玉野市総合計画」に基づいて、市民参加による施策づくりを推進し、人間尊重の精神を基調にした生涯学習社会の実現を目指します。

豊かな心と確かな学力を身につけ、自分の夢の実現に向かって歩む子どもを育成するため、就学前教育では、幼児の社会性の芽生えと学びの芽生えを大切にし、小学校への円滑な接続を図ります。

小・中学校においては、学力向上・キャリア教育を柱とする中学校区一貫教育を推進し、学校運営協議会設置によるコミュニティ・スクール組織と地域学校協働本部事業の一体的充実により、地域とともにある学校を実現します。

高校教育においては、市立高校の魅力づくりの中で地域産業や小・中学校と連携した教育課程や地域貢献活動等に取り組み、地域の活性化に寄与する人材育成を進めます。

そのために、教職員の資質能力を高めるとともに、道徳教育や特別支援教育など様々な教育活動の充実を図ります。また、GIGAスクール構想に基づくICTの活用により、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に取り組みます。

さらに、各種施設の整備、教育環境の充実に努めるとともに、各校・園は、主体的な学校・園経営を行い、家庭や地域と協力・連携して、子どもの安全確保や食育・体力向上などの取組を進め、地域に開かれた魅力と特色ある「信頼される学校・園づくり」を推進します。

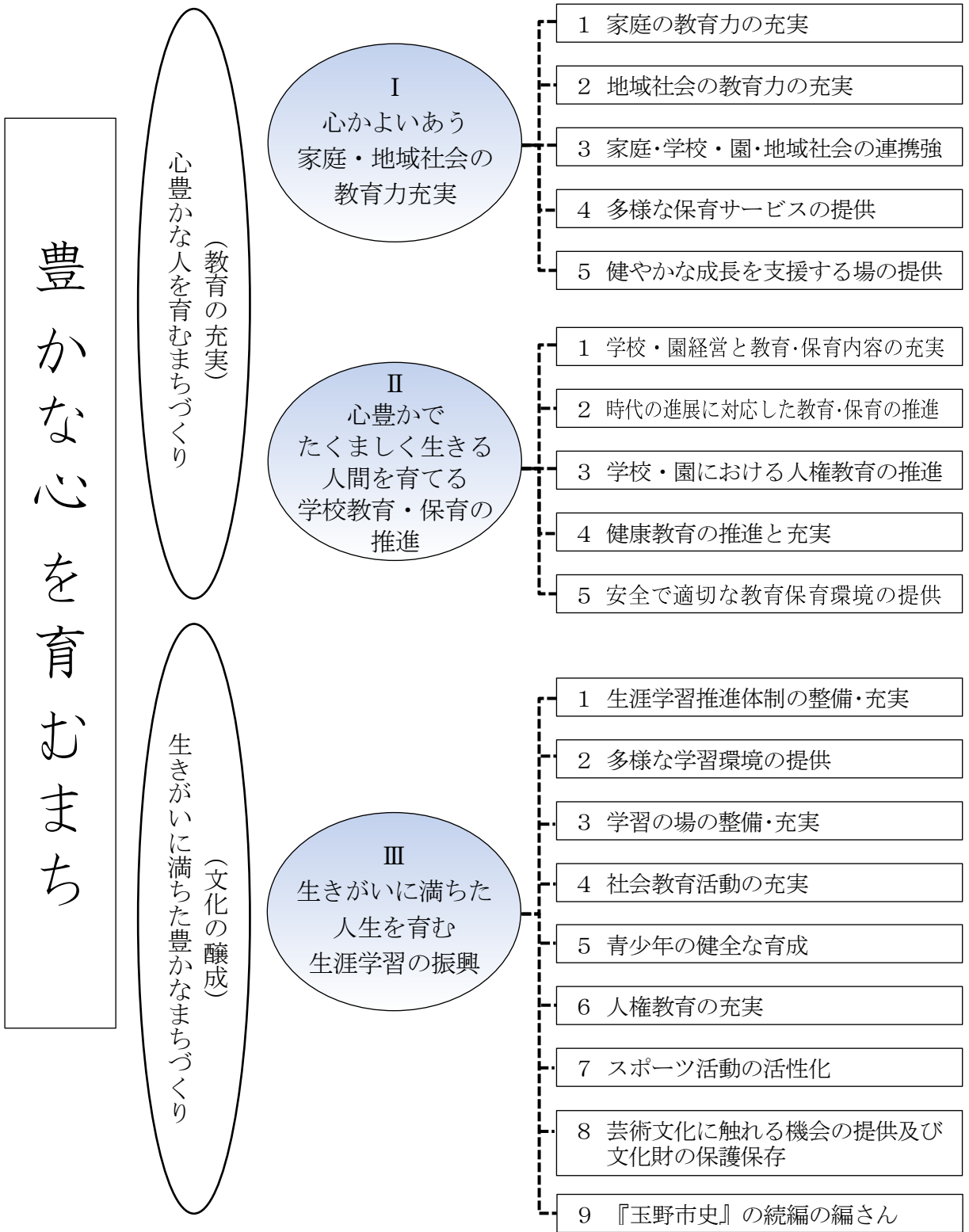
社会教育においては、市民の生きがいのある生活づくりや健康づくりを推進するため、地域住民等の意向を反映させながら、関係団体とも連携して、生涯学習の場と機会の提供を充実させ、芸術・文化、スポーツの振興を図ります。

また、保護者同士がワークショップなどを通じて交流し、自身が主体的に問題解決に努められるよう学習機会を提供する等、家庭教育を支援する環境整備に努めます。

さらに、学校・家庭・地域が相互に協力し、地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育む「地域の教育力」を高め、地域の活性化や世代間交流を図る活動を推進します。

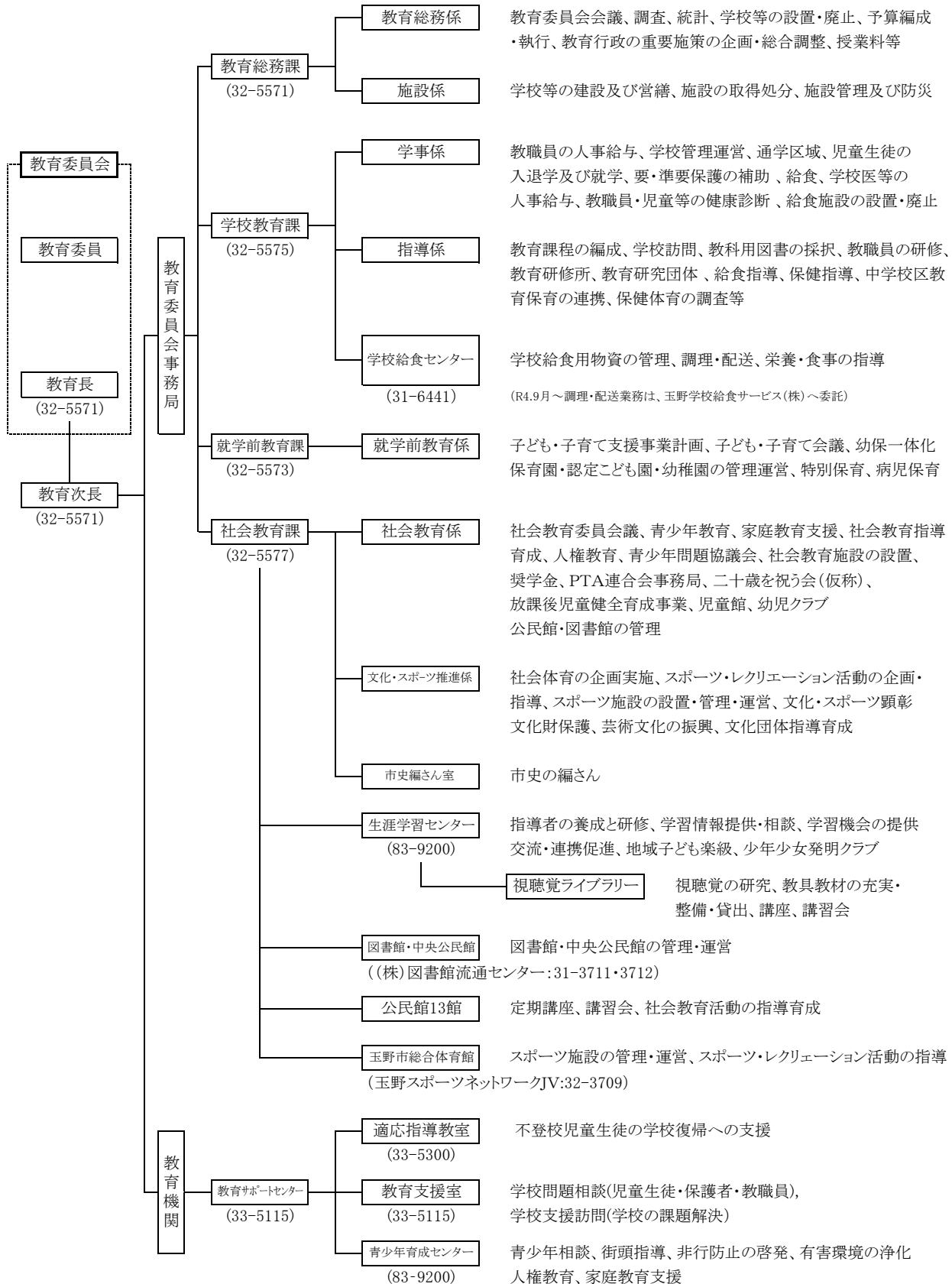
諸施策の実施に当たっては、教育委員会が積極的に情報を発信し、関係諸機関や教育関係団体との連携のもと、広く市民の理解と協力を得ながら、心豊かな人づくりと、生きがいと満ちたまちづくりに取り組みます。

令和4年度 重点施策の体系



玉野市教育委員会の機構及び事務分掌

[令和5年3月31日現在]



令和4年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和5年3月31日現在）

役職名	氏名	就任年月日	現任期
教育長	せのお ひとし 妹尾 均	令和2年4月1日 2期目	令和4年10月1日 ～令和7年9月30日
教育長職務代理者	だざい みちよ 太宰 実千代	令和2年4月1日 1期目	令和2年4月1日 ～令和6年3月31日
委員	かとう まさえ 加藤 正枝	平成31年4月1日 1期目	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日
委員	みやけ えいじ 三宅 英次	令和3年4月1日 1期目	令和3年4月1日 ～令和7年3月31日
委員	にのみや たかし 二宮 崇	令和4年4月1日 1期目	令和4年4月1日 ～令和8年3月31日

(2) 教育委員会 会議開催状況 ()は非公開

開催日	教育長報告	議事	協議	その他	開催日	教育長報告	議事	協議	その他
4/6		1	2	3	9/22	1	3	1	1
4/25	3	3	1	4	10/11	1		1	2
5/10			1	2	11/1			(1)	1
5/24	1	2(5)	2	2(4)	11/15		3(1)	1	2
6/1		(1)			12/20	1			8
6/21	2	3(1)	2	2	1/24	1		1	3(2)
7/12		2(1)	1	2	2/7				6
7/27	1	4(1)	1	3	2/22		5(2)	1	2(1)
8/23		6(1)		4	3/23		7	1	5
					計	教育長報告	議事	協議	その他
					18回	11	52	17	61

(3) 議決案件

No.	月 日	議 決 事 項
1	4月 6日	玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会設置要綱の制定について
2	4月25日	玉野市学校運営協議会委員の委嘱について
3	〃	玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について
4	〃	玉野市立図書館協議会委員の任命について
5	5月10日	職員の処分について
6	5月24日	令和4年度6月補正予算案（教育委員会関係分）について
7	〃	玉野市立玉野商工高等学校教員の給与等に関する条例の一部改正について
8	〃	玉野市立学校給食センター条例の一部改正について
9	〃	令和4年度学校運営協議会委員の委嘱（変更）について
10	〃	令和5年度使用玉野市立高等学校の教科用図書の採択について
11	〃	令和5年度玉野商工高等学校入学者選抜について
12	〃	玉野市奨学生選考委員の委嘱について
13	6月 1日	（継続審議）令和5年度玉野商工高等学校入学者選抜について
14	6月21日	玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会委員の委嘱について
15	〃	令和4年度学校運営協議会委員の委嘱（変更）について
16	〃	玉野市社会教育委員の委嘱について
17	〃	令和4年度玉野市奨学生の選考結果について
18	7月12日	令和4年度7月補正予算案（教育委員会関係分）について
19	〃	令和5年度玉野市立高等学校入学者選抜実施大要について
20	〃	令和4年度学校運営協議会委員の委嘱（変更）について
21	7月26日	玉野市立学校給食センター管理規則の一部改正について
22	〃	玉野市教育委員会の特殊な勤務に従事する職員の勤務時間等に関する規程の一部改正について
23	〃	玉野市立学校給食センターに勤務する技能労務職の職員の就業規則の廃止について
24	〃	玉野市教育委員会職員被服貸与規程の一部改正について
25	〃	令和5年度使用玉野市立学校教科用図書の採択について（高等学校分）
26	8月23日	令和4年度9月補正予算案（教育委員会関係分）について
27	〃	玉野市教育委員会事務局及び教育機関（玉野市立学校を除く。）職員の過重労働による健康被害防止対策実施要綱を廃止する要綱について
28	〃	玉野市立学校管理規則の一部改正について
29	〃	玉野市立玉野商工高等学校教員の期末手当及び勤勉手当の特例に関する規則の一部改正について

No.	月 日	議 決 事 項
30	8月23日	玉野市立学校職員服務規程の一部改正について
31	8月23日	玉野市立玉野商工高等学校学則の一部改正について
32	8月23日	玉野市立玉野備南高等学校学則の一部改正について
33	9月21日	玉野市教育委員会交際費支出基準及び公表に関する要綱の一部改正について
34	9月21日	玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の一部改正について
35	9月21日	たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱について
36	11月15日	令和4年度12月補正予算案（教育委員会関係分）について
37	11月15日	玉野市立学校における医療的ケア実施要綱の制定について
38	11月15日	玉野市立体育施設の指定管理者選定について
39	2月21日	玉野市教育振興基本計画案（総合計画分野別計画）（教育委員会関係分）について
40	2月21日	令和5年度当初予算案（教育委員会関係分）について
41	2月21日	玉野市就学援助規則の一部改正について
42	2月21日	玉野市立学校職員の過重労働による健康障害防止対策実施要綱の一部改正について
43	2月21日	玉野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
44	2月21日	令和4年度3月補正予算案（教育委員会関係分）について
45	2月21日	教育長の辞職願に対する同意について
46	3月23日	玉野市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部改正について
47	3月23日	玉野市教育委員会公印規則の一部改正について
48	3月23日	玉野市教育委員会職員の年齢60年以上退職者等の定年前再任用に関する規程の制定について
49	3月23日	玉野市教育委員会職員の暫定再任用に関する規程の制定について
50	3月23日	玉野市教育委員会のセクシュアル・ハラスメントの防止等に関する要綱等の一部改正について
51	3月23日	玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の一部改正について
52	3月23日	玉野市立公民館自動体外式除細動器（AED）貸出要綱の廃止について

(4) 教育委員懇談会

令和4年度共通テーマ：「『たくましく まなんで のびる たまのっ子』を育むために」

回	月 日	テーマ	参加者	人数
1	7月12日	生徒指導の現状について	市立小・中学校校長、養護教諭、生徒指導主事	8
2	2月7日	学校給食の現状と食育について	給食センター所長、栄養教諭、学校栄養職員、委託事業者責任者	5

(5) 学校等視察

新任校長園長の学校園及び特別の事情のある施設、前年度訪問できなかった施設を中心に、教育委員会が管轄する施設のうち半数程度を視察する。(20/47 施設)

7月26日	田井保育園	榎ヶ原らどり保育園	紅陽台らどり保育園	玉野市総合体育館	図書館・中央公民館
9月21日	荘内南幼稚園	荘内中学校	荘内小学校	大崎小学校	大崎認定こども園
11月 1日	サンマリノ認定こども園	後閑小学校	給食センター	田井小学校	宇野小学校
11月15日	玉原認定こども園	玉原小学校	玉認定こども園	商工高校	
2月7日	日比幼稚園	日比小学校	二日比小学校	築港小学校	

(6) その他の活動

月 日	内 容	場 所
4月 6日	玉野市教育功労者感謝状贈呈式	玉野市役所
4月25日	第1回総合教育会議	玉野市役所
11月 3日	文化・スポーツ顕彰表彰式 *	中央公民館多目的室(大)
〃	文化協会表彰式 *	中央公民館多目的室(大)
1月 8日	二十歳の式*	ダイヤモンド瀬戸内マリホテル
2月16日	第2回総合教育会議	玉野市役所
7月23・30日 12月10・17日	子ども楽級視察 (12 楽級)	各公民館・小学校
12月16日～ 1月16日	おさらい会視察 (4 学級)	各公民館・小学校

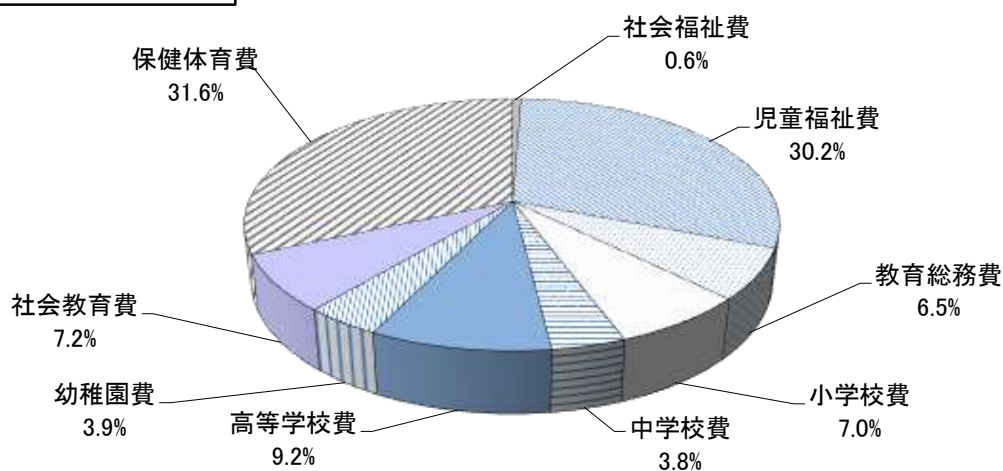
*教育長のみ出席

令和4年度 教育費・民生費（教育委員会所管分）決算額

(1) 令和4年度決算額内訳

項	金額(千円)	前年度比(千円)	伸び率(%)
社会福祉費	33,138	1,877	6.0
児童福祉費	1,653,107	38,323	2.4
教育総務費	353,343	18,226	5.4
小学校費	382,362	54,419	16.6
中学校費	206,477	2,666	1.3
高等学校費	502,699	△ 12,852	△ 2.5
幼稚園費	213,774	11,853	5.9
社会教育費	393,876	5,092	1.3
保健体育費	1,729,335	1,422,697	464.0
計	5,468,111	1,542,301	39.3

令和3年度決算額構成比



(2) 教育費決算額の推移

項	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
社会福祉費	28,450	33,032	41,715	31,261	33,138
児童福祉費	1,550,394	1,531,241	1,533,639	1,614,784	1,653,107
教育総務費	274,958	247,508	521,349	335,117	353,343
小学校費	308,913	505,444	689,716	327,943	382,362
中学校費	244,019	190,193	265,428	203,811	206,477
高等学校費	471,894	474,294	512,523	515,551	502,699
幼稚園費	204,352	206,398	200,187	201,921	213,774
社会教育費	290,280	274,307	381,453	388,784	393,876
保健体育費	323,618	322,765	284,775	306,638	1,729,335
計	3,696,878	3,785,182	4,430,785	3,925,810	5,468,111

令和4年度主要推進事業に関する自己評価

「令和4年度玉野市教育行政重点施策」において掲げた主要推進事業への取り組み状況、達成度などについて、A、B、C、Dの四段階で自己評価を加えた。

【評価基準】

- A . . . 十分な成果があった
- B . . . 概ね満足な成果があった
- C . . . 成果がやや不十分であった
- D . . . 成果に不満が残った
- . . . 評価なし

令和4年度主要事業の点検・評価 事業一覧

I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実

【区分】家庭・地域社会の教育力の充実

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
地域子ども楽級推進事業	〈社会教育課〉	B	13
家庭教育支援事業	〈社会教育課〉	B	14
地域学校協働本部事業	〈社会教育課〉	B	14
玉野市子ども会連絡協議会研修事業	〈社会教育課〉	C	15
たまのステューデントガイドプログラム	〈社会教育課〉	A	15
「二十歳の式」開催事業	〈社会教育課〉	B	16
たまの地域人づくり大学	〈社会教育課〉	C	16
児童館管理運営事業	〈社会教育課〉	B	17
放課後児童クラブ管理運営事業	〈社会教育課〉	A	17

【区分】多様な保育サービスの提供

病児保育事業の実施	〈就学前教育課〉	A	18
子育て支援情報の提供	〈就学前教育課〉	B	19
一時預かり事業の実施	〈就学前教育課〉	B	20

II. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

【区分】心と体の育成

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
スクールカウンセラー配置事業	〈学校教育課〉	B	21
スクールソーシャルワーカー配置事業 就学前からのスクールソーシャルワーカー活用調査・研究事業	〈学校教育課〉	B	21
たまの創生人材育成推進事業	〈学校教育課〉	B	22
生徒指導体制の充実（玉野市教育支援体制の推進）	〈学校教育課〉	B	22
適応指導教室運営事業	〈学校教育課〉	A	23
教育支援室運営事業	〈学校教育課〉	A	23
小学校における長期欠席・不登校対策システム化推進事業	〈学校教育課〉	B	24
アレルギーメールマガジンの配信	〈学校給食センター〉	A	24
学校における食育の推進	〈学校教育課〉	B	25

【区分】学力向上の推進

小学校非常勤講師配置事業	〈学校教育課〉	B	26
中学校非常勤講師配置事業	〈学校教育課〉	B	26
グローバル人材育成事業	〈学校教育課〉	B	26
学校経営アクションプラン作成と実践	〈学校教育課〉	B	27

【区分】特別支援教育の充実

特別支援教育ネットワーク連絡協議会	〈学校教育課〉	B	28
特別支援教育サポートチームの派遣	〈学校教育課〉	B	28
授業のユニバーサルデザインの推進	〈学校教育課〉	B	29
玉野市特別支援教育推進センター整備	〈学校教育課〉	A	29

【区分】保育士・教員等の指導力向上

保育協議会研修会の実施	〈就学前教育課〉	A	30
幼児教育推進体制の充実・活用強化事業	〈就学前教育課〉	A	30
各種研修会の実施	〈学校教育課〉	B	31

【区分】教育環境の整備

教職員の働き方改革推進	〈学校教育課〉	B	32
学校事務の共同実施	〈学校教育課〉	A	32
中学校区一貫教育の充実	〈学校教育課〉	A	33
未来の学校・園づくりの推進	〈学校教育課〉	A	33
玉野市立学校将来計画策定事業 (玉野市立学校適正規模化計画策定事業)	〈教育総務課〉	B	34
学校教育充実のための支援人材配置 学校サポートスタッフ配置事業 小1グッドスタート支援事業	〈学校教育課〉	B	34

【区分】安全・安心の確保

地域パトロール隊	〈学校教育課〉	A	35
----------	---------	---	----

【区分】市立高校の充実

市立高校の魅力づくり	〈学校教育課〉	B	36
高等学校非常勤講師配置事業	〈学校教育課〉	B	36
機械科非常勤講師配置事業	〈学校教育課〉	B	36

【区分】スポーツ・文化芸術活動の振興

競技スポーツ振興事業	〈学校教育課〉	B	37
玉野市立学校 文化・芸術活動等育成事業	〈学校教育課〉	—	37

【区分】家庭・地域との連携

学校運営協議会の充実	〈学校教育課〉	B	38
教育委員懇談会	〈教育総務課〉	A	38
生徒地域貢献活動補助事業	〈学校教育課〉	B	38
園と家庭のかけはし事業	〈就学前教育課〉	A	39

Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

【区分】生涯学習の推進

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
生涯学習人材バンク	〈社会教育課〉	B	40
生涯学習施策推進事業	〈社会教育課〉	B	40
まちづくり出前講座	〈社会教育課〉	B	40

【区分】人権教育の推進

人権教育推進事業	〈社会教育課〉	A	41
----------	---------	---	----

【区分】青少年健全育成活動の推進

補導活動の推進	〈社会教育課〉	B	42
広報啓発活動と関係機関との連携	〈社会教育課〉	B	42
環境浄化活動	〈社会教育課〉	B	43
不審者対策	〈社会教育課〉	B	43

【区分】スポーツの推進

総合型地域スポーツクラブ育成事業	〈社会教育課〉	A	44
スポーツ指導者研修会開催事業	〈社会教育課〉	A	44
競技スポーツ推進事業	〈社会教育課〉	B	44
トップアスリート招へい事業	〈社会教育課〉	B	45
スポーツ施策推進事業	〈社会教育課〉	A	45

【区分】地域文化の振興

玉野美術秀作展事業	〈社会教育課〉	B	46
市民コンサート開催事業	〈社会教育課〉	B	46
文化・スポーツ顕彰事業	〈社会教育課〉	A	47
芸術文化振興助成事業	〈社会教育課〉	—	47
短歌「西行賞」表彰事業	〈社会教育課〉	A	48
文化財保護・整備事業	〈社会教育課〉	B	49
トップアーティスト招へい事業	〈社会教育課〉	B	49

令和4年度主要事業の点検・評価

I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実

【区分】家庭・地域社会の教育力の充実

※ 決算額二段書き下段は、決算額のうち交付金等の額

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
地域子ども楽級 推進事業 (県) 〈社会教育課〉	放課後や週末に公民館を利用し、小学生が地域のボランティア指導者や協力者のもとで、遊び・ものづくり・体験学習・世代間交流・学習などの活動をするための支援を行う。 また、小学校の余裕教室等で、毎月1～2回程度、平日の放課後に「おさらい会」を実施し、主に希望する3年生を対象に、算数の基礎基本の習得の学習支援を行う。 (全小学校区)	B	≪成果≫ 学校や家庭だけでは体験することのできない様々な活動を通して、子どもたちは社会性、協調性や自主性ととともに、感謝の気持ちや思いやりの心を身につけ、地域や地域の方々にだんだんと愛着をもつようになってきている。 また、児童の減少に伴い、参加児童延べ人数は減少傾向にあるが、地域のボランティア指導者や協力者を含めた地域の教育力の向上とともに、生涯学習の視点からも、学びが循環する地域社会の形成の一助となっている。 令和4年度は新型コロナウイルスの影響はあったが、少しずつコロナ禍以前の活動を取り入れていった楽級が増えた。(食べ物は除く) ○子ども楽級 (全14楽級) ・年間開催日数 1,064回 (図書館開館日を含む) ・参加児童延べ人数 4,324人 ・協力者延べ人数 5,021人 ○おさらい会 (全13おさらい会) ・年間開催日数 141回 ・参加児童延べ人数 1,771人 ・協力者延べ人数 1,078人	5,150 (県)3,433
			≪課題≫ 地域コーディネーター等の高齢化もあり、後継者確保が課題である。今後、地域学校協働本部との関わりについて、より具体的な検討の必要がある。	

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
家庭教育支援事業 (県) 〈社会教育課〉	<p>家庭教育講座等で「親学」啓発パンフレットなど、子育てに関する学習情報を提供することにより、家庭教育の支援体制を強化する。</p> <p>また、保育園・認定こども園・幼稚園及び全小・中学校において、参観日等の機会を利用し、保護者を対象とした講演会やワークショップを開催するなど、子どもの健全育成と家庭教育支援に関する取組を実施するとともに、講師の人材育成に努める。</p>	B	<p>〈成果〉</p> <p>令和4年度は、各学校園で合計31回の学習講座を実施し、学習機会の提供や保護者同士の交流を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の講座が中止になったが、影響は小規模であった。</p> <p>〈課題〉</p> <p>就労等で多忙な保護者に対し、家庭の大切さを意識できる機会の確保や、保護者が学び合う機会づくりが課題である。コロナ禍による影響を受けない開催手法の検討が必要である。</p>	120 (県) 80
地域学校協働本部事業 (県) 〈社会教育課〉	<p>地域全体で学校教育を支援するため、地域学校協働推進員を中心とした学校と地域との連携体制を構築する。</p> <p>(田井幼・和田幼・全小学校14校・全中学校7校)</p>	B	<p>〈成果〉</p> <p>令和4年度は、2幼稚園、全14小学校、全7中学校で事業を実施し、年間を通じて学校園に地域ボランティア約1,000名が関わり、子どもたちに学力の向上、安全な学校生活、豊かな経験の場を提供している。学校が地域との連携を深め、協働して教育活動を実施した。</p> <p>地域資源を理解することにより、子どもたちが、地元を知り、愛着心を持つことにも寄与していると思われる。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一部活動の規模や内容を縮小することとなったが、コロナ禍による影響は小規模であった。</p> <p>〈課題〉</p> <p>ボランティアや協働活動推進員の後継者不足が課題である。今後はコミュニティ・スクールとの連携による事業展開と活動内容の充実が必要である。</p>	1,482 (県) 988

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
玉野市子ども会 連絡協議会研修 事業 〈社会教育課〉	協議会の研修を通して、子どもたちのリーダーとしての自覚、集団でのルールの体得を促すとともに、親子・他校の子どもとの交流を図る。	C	<p>《成果》 令和4年度は、27人（子ども14人、育成者13人）の登録があり、単位子ども会、市子連としての活動を行った。</p> <p>《課題》 単位子ども会の減少に伴い、協議会加盟の子ども会は現在1団体のみとなっている。広報活動の工夫や、研修内容の充実を図ってきたが、今後、事業の見直しについて検討する。</p>	66
たまのスケジュール ガイドプログラム 〈社会教育課〉	玉野市の若者が国際理解・地方創生等に関心を持ち、主体性やコミュニケーション力、国際性等、これからの社会で求められる力を身に付けることができるよう、ボランティアガイドと連携し、宇野港や宇野駅で国際交流やおもてなし活動を行うプログラムなどを実施する。	A	<p>《成果》 令和4年度は地域のボランティアガイドなどと連携し、瀬戸芸2022を題材に観光客や留学生などを対象に瀬戸内のガイドを行う「瀬戸芸ボランティアガイドプログラム」や、「こえび隊体験プログラム」を実践した。 延べ約200名の外国人と生徒が参加した。活動を通して、地域とのつながりを意識できるようになり、学校・学年を越えたつながりや、国際感覚を養うきっかけとなるなど、様々な面で成果が見られた。</p> <p>《課題》 次回以降の瀬戸内国際芸術祭に向け、市内の小中高生が主体的に地方創生や国際理解について考える機会をもつことができるよう、発展的な活動の実施を検討する。</p>	(300) (福武)

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
「二十歳の式」 開催事業 〈社会教育課〉	二十歳を迎える方を招き、 祝賀交歓のうちに大人としての 自覚と市民意識を高め、 社会に貢献し力強く生きてい くよう激励する。	B	<p>《成果》 令和5年は二十歳になる人359人が参加した。(参加67.1%)二十歳になる人が企画運営に携わる形式で行った第2部では、恩師のビデオレター上映を実施するとともにお互いに祝福、激励することで、社会の一員としての自覚と責任を持つ場として成果があった。</p> <p>《課題》 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、安心・安全な成人式が開催出来るよう実施内容について検討する。 新型コロナウイルス感染症が5類になり、制限が解除されたことで、感染対策で縮小された式をコロナ前に完全に戻すのか、今後の方向性を模索中である。</p>	1,487
たまの地域人づくり大学 〈社会教育課〉	地域活動に役立つ知識・技術等を習得するための各種講座を実施し、地域において活躍できる人材を育成する。	C	<p>《成果》 平成22年度に開講し、12年目となる令和4年度は10講座、1記念講演を実施した。新型コロナウイルス感染症への対応として、オンラインを活用した講座を開催したほか、本市独自の地域資源の一つであるアートと、歴史を活かした多世代交流ができるまちづくりを目指す人材の育成を目的に、連続講座を開講した。地域を支えるための身近な課題について、座学や体験等を通じた知識を習得する場となった。 また、受講生が観光ボランティアとして活動を継続しており、本学での学びの成果を地域で活かし、地域づくりに繋げている。 令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、一部規模・回数を縮小することとなった。</p> <p>《課題》 人材育成という事業の本来の目的が薄れてきている。改めて人材育成につながる講座内容や事業の実施方法等について見直しを検討する。</p>	1,134

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
児童館管理運営事業 〈社会教育課〉	児童に健全な遊びとその場を提供して、心身の健康を増進し情操を豊かにする。また「児童館だより」の発行など、情報発信を行う。	B	<p>《成果》</p> <p>乳幼児から中学生までを対象に、遊びや体験学習の拠点として様々なイベントを開催した。来館者数5,972人。ボランティア大人176人、子ども126人。児童館や周辺の清掃、児童館まつりの準備や手伝い等を行った。</p> <p>《課題》</p> <p>遊びを通じての子どもの育成、子育て家庭支援地域活動の促進などの事業内容の充実が課題である。</p>	8,377 (県)4,190
放課後児童クラブ管理運営事業 〈社会教育課〉	仕事等により保護者が昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後に放課後児童クラブを利用して、適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図る。	A	<p>《成果》</p> <p>田井・築港・宇野・玉・玉原・日比・第二日比・荘内・八浜・大崎・後閑・山田・胸上・鉾立の14小学校区18クラブを開設している。引き続き長期休業中の開所時刻を8時30分から8時に試行的に変更した。</p> <p>・在籍児童延べ人数 令和4年度 9,078人 令和3年度 8,322人</p> <p>《課題》</p> <p>登録児童数は増加傾向にある。クラブの大規模化と施設の老朽化が課題である。</p>	141,118 (県)68,481

【区分】多様な保育サービスの提供

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
病児保育事業の実施 <就学前教育課>	玉野市民病院内の病児・病後児保育室で、病気の回復期・回復期ではないものの入院治療の必要はない小学校低学年までの子どもの預かりを実施する。	A	<<成果>> 玉野市民病院に委託して、保護者が仕事等の都合により家庭で保育できない病児の保育を実施した。 また、県内18市町において、病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定を結び、市域を越えて、病児保育に対する需要に応じている。 <受入人数（玉野市民病院）> 令和4年度 26人 （うち倉敷市 1人） 令和3年度 58人 （うち岡山市 20人） <依頼人数（他市施設）> 令和4年度 68人 （うち岡山市 29人、倉敷市39人） 令和3年度 70人 （うち岡山市 30人、倉敷市 40人） <<課題>> 本市内で病児保育を実施している施設は、玉野市民病院の一箇所なので、他事業者の事業参入を促していく必要がある。	7,321 (県)3,791 (他) 57

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
子育て支援情報の提供 <就学前教育課>	子育て支援センター、各保育園・認定こども園・幼稚園で園庭開放を行い、子育てに関する相談を随時受け付ける。また、子育てメールマガジンを活用して「子育て支援センターだより」「児童館だより」等の情報を毎週金曜日に配信するほか、子育て支援ガイドブックを中学生以下の子どもがいる世帯に配布したり、子育て支援アプリを導入することにより、子育て支援情報を積極的に提供する。	B	<<成果>> 園庭開放及び子育て支援センター主催のイベントを再開し、親子間の交流や子育てに関する情報交換が行える場を設け、多くの来場者を得た。 また、保護者が子育てで抱える不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に、子育てアプリを活用し、子育て支援情報の発信に努めた。 そのほか、毎週金曜日に、子育て世帯の保護者等を対象に、子育て関連情報をメール配信することで、間接的に子育て支援を図ることができた。 <園庭開放来場者数> 令和4年度 1,355人 (大人633人、子ども722人) 令和3年度 0人 <イベント来場組数> 令和4年度 56組 令和3年度 0組 <メールマガジン登録者数> 令和4年度 773人 令和3年度 784人 <子育てアプリ登録者数> 令和4年度 543人 令和3年度 448人 <子育て支援動画配信数> 令和4年度 3回 令和3年度 12回 ----- <<課題>> 園庭開放やイベントに関しては、多種多様な内容の取組実施に向け、調査・研究を進めることが求められる。 子育て中の保護者がどのような情報を必要としているか把握し、タイムリーな発信に努める。	33,912 (県)23,355

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
<p>一時預かり事業の実施</p> <p>〈就学前教育課〉</p>	<p>冠婚葬祭・仕事などの緊急時に、あらかじめ登録した乳幼児(就園児以外)の一時預かり事業を実施する。(玉原認定こども園・サンマリン認定こども園・築港ちどり保育園・槌ヶ原ちどり保育園)。</p> <p>また、認定こども園(教育利用)及び、幼稚園で、幼稚園型の一時預かり事業を実施する。</p>	<p>B</p>	<p>〈成果〉</p> <p>保育園等を利用していない家庭(一般型)や、市内の全認定こども園5か所あるいは全幼稚園6か所の教育利用している家庭(幼稚園型)を対象に、突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭で保育が困難な子どもを保育し、保護者の心理的・身体的負担を軽減することができた。</p> <p>〈実施施設(一般型)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉原認定こども園 ・サンマリン認定こども園 ・築港ちどり保育園 ・槌ヶ原ちどり保育園 <p>〈利用者数(一般型)〉</p> <p>令和4年度 1,914人 令和3年度 1,831人</p> <p>〈利用者数(幼稚園型)〉</p> <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園(6園) 296人 ・認定こども園(5園) 122人 <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園(6園) 155人 ・認定こども園(6園) 143人 <hr/> <p>〈課題〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、利用者数は徐々に増加傾向にある。引き続きニーズに応じて安心して利用することができる環境の整備及び事業の周知についても、工夫していくことが必要である。</p>	<p>11,967 (県)7,863</p>

II. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

【区分】心と体の育成

※ 決算額二段書き下段は、決算額のうち交付金等の額

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
スクールカウンセラー配置事業 (県・市) 〈学校教育課〉	全小中学校及び市立高等学校へスクールカウンセラーを、全保育所・こども園・幼稚園には保育カウンセラーを派遣し、児童生徒・保護者及び教職員の支援を行う。また、市内教育相談体制の強化のため、こども未来づくりネットワーク連絡協議会、スクールカウンセラー連絡協議会を開催する。(市事業による配置校園：就学前全園・小学校6校、高等学校2校)	B	≪成果≫ スクールカウンセラーを積極的に活用し、児童・生徒及び保護者のカウンセリング等を通して、学校における不適応状況等の改善に成果をあげた。教員とのコンサルテーション、校内研修やケース会議を通して、問題解決や教員の資質向上に成果があった。 また、就学前における子育てや発達の相談等に取り組むことで、保護者の支援に成果を上げた。	2,196
			≪課題≫ 学校園間で活用に若干の差があるため、有効な活用事例の紹介や広報活動等を行う必要がある。また、限られた配置時間の中で、カウンセリングの必要がある保護者へ適切に働きかけを行うことが必要である。	
スクールソーシャルワーカー配置事業(県) 〈学校教育課〉	多様な課題のある児童生徒の課題解決のために福祉の視点で家庭環境の改善や関係機関への働きかけや支援ネットワークの調整等を行うスクールソーシャルワーカーを配置する。	B	≪成果≫ 虐待の見守り家庭の児童生徒や、発達障害等による集団不適応のある児童生徒の家庭環境改善のため、関係機関との連携を強化しながら支援を進めた。 中学校においては、ケースに応じて地域の相談資源に繋げるための移行支援会議を行う等して、卒業後の支援体制を構築した。	—
			≪課題≫ 支援が必要な家庭に対して介入のきっかけを作ることが困難な家庭もあるため、さらに関係機関との連携を図り解決策を講じていく必要がある。また、困難な家庭については、卒業後も引き続き支援が継続できるよう、より丁寧な引き継ぎが必要である。	

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
たまの創生人材 育成推進事業 〈学校教育課〉	これからの激変する社会で強く生きていく力を育成するとともに、地方創生の視点に立って地域の活性化に寄与する人材を育成するために、学校と地域が協働し、地域を教育フィールドに活用したキャリア教育を推進する。	B	<p>《成果》</p> <p>地域の各事業所との連携により、有意義な職場体験活動が実施でき、生徒が自分の夢を持ち、主体的に進路を考えるきっかけづくりができた。</p> <p>また、学校間をオンラインで繋いだ発表会など、市内の児童生徒同士のつながりも見られた。</p> <p>《課題》</p> <p>コロナ禍において様々な活動の制約があり、やむなく中止や実施方法を変更した取組があった。</p> <p>キャリア教育のカリキュラムを中学校区一貫教育の中で一層明確に位置付けていく必要がある。</p>	1,380
生徒指導体制の 充実 (玉野市教育支 援体制の推進) 〈学校教育課〉	特別支援教育の視点に立ち、幼児期からの継続的な指導・支援を行う本市独自の「教育支援体制」を推進し、子どもたちの健全育成に取り組む。また、いじめ防止基本方針に基づいたいじめを生まない学校づくり、不登校を生まない学校づくりを推進する。	B	<p>《成果》</p> <p>教育支援体制の推進により、各校の課題のある児童生徒のための関係機関と連携したケース会等が活性化した。</p> <p>管理職会議や生徒指導担当者研修を通じて、いじめの積極的認知を徹底し、いじめ見逃し0を目指した取組を推進した。</p> <p>不登校ヒアリングを行い、個別のケースについて支援し、教育サポートセンター等の関係機関との連携を推進した。</p> <p>《課題》</p> <p>不登校児童生徒は減少しておらず、引き続き、教育支援体制を継続し、関係機関との連携を推進するとともに、多様な学びの場の在り方について検討していく必要がある。</p>	—

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
適応指導教室運営事業 〈学校教育課〉	不登校児童生徒に対し、教育相談や創作活動、自然・社会体験等の集団活動を通して、自発性や社会性、集団への適応力を育て学校への復帰を支援する。小学生と中学生の発達段階を考慮し、児童生徒の状況に応じたきめ細やかな支援を行う。	A	<p>《成果》</p> <p>環境の整備、学校や教育支援室との連携等によるきめ細やかな対応により通室生・学校登校者が増えた。小学生が7名、中学生が10名、合計17名が新たに正式入室し、正式通室生は43名（小学生20名、中学生23名）であった。このうち27名（小学生17名、中学生10名）が学校へ復帰登校（放課後・部分登校を含む）した。</p> <p>また、中学校卒業生は10名で、全日制に5名、通信制に4名、定時制に1名が進学した。ボランティア等とも連携し、体験活動を充実させることで、集団適応力等の育成にも取り組んだ。</p> <p>《課題》</p> <p>通室生が増え、スタッフの連携がより重要になってきている。特別な配慮、きめ細やかな支援をするため、人員配置や環境整備、プログラム開発等さらなる工夫が必要である。</p>	8,408
教育支援室運営事業 〈学校教育課〉	玉野市教育サポートセンター内の教育支援室において、個別の相談を受けるとともに、訪問支援型教育相談体制の構築や学校支援訪問を行い、学校と連携して、児童生徒の学校不適應等の諸問題の解決を図る。 また、義務教育修了後の引きこもり傾向である若者サポートに取り組み、社会参加を促進していく。（子ども・若者支援地域協議会運営）	A	<p>《成果》</p> <p>相談件数は265件、延べ3,306回となっており、昨年度から延べ件数は増加した。不登校や発達問題等、学校における生徒指導上の諸問題解決の支援にあたった。ケース会、行動観察や訪問相談等、ケースに応じた相談形態を検討して支援をすすめている。また、個別の相談だけでなく、ワークショップ等、体験の場を設けることで、自己肯定感の向上や居場所作りに取り組んだ。</p> <p>《課題》</p> <p>相談ニーズは年々高まり、相談内容も多様化、複雑化している。様々な年齢層への対応するための取組や関係機関との連携がさらに求められるようになってきている。</p>	8,139

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
小学校における 長期欠席・不登校対策システム 化推進事業 (県) 〈学校教育課〉	市内5小学校に登校支援員を配置して、不登校に対する小学校の組織的な対応力向上を図るとともに、別室を活用した不登校の初期段階における児童や家庭への積極的な関わりや、不登校児童の学校復帰に向けた支援を行う。 (田井小・宇野小・第二日比小・荘内小・八浜小)	B	≪成果≫ 支援員配置校では、不登校児童の別室登校対応が可能となり、また、他機関との連携も進んだ。 新規長欠・不登校児童が出現しなかった配置校もあり、大きな成果が出ている。各校で不登校や登校しぶりが見られる児童についての情報共有を図り、「アセスメントシート」を作成する等して校内の支援体制の充実を図ることができた。 ≪課題≫ 支援体制は確立しつつあるが、不登校児童数は減少しておらず、今後も取組を継続し、これまで以上に、校内体制や他機関との連携が充実することが必要である。	4,460 (県)
アレルギーメールマガジンの配信 〈学校給食センター〉	給食に含まれるアレルギー原因食品をメールマガジンにより保護者へ情報発信し、食物アレルギーに関する情報の提供に努める。	A	≪成果≫ 各学校を通して、食物アレルギーについて情報を必要とする方へメールマガジンへの登録を勧め、翌日の給食献立の食材についての情報を配信し、情報提供を図ることができた。 登録者数300名(令和5年8月) ≪課題≫ 今後は、食物アレルギーについて広く理解を深める上で、メール配信サービスについての周知を図り、メールマガジンへの登録を啓発していく必要がある。	—

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
学校における食育の推進 〈学校教育課〉	子どもたちの食に関する適切な判断力・実践力を養い、生涯にわたって健全な食生活を実現し、心身の健康の増進と豊かな人間形成を行う。また、食物アレルギー対応の手引きを改訂し、内容について周知し校内管理体制を整える。	B	≪成果≫ 食育推進検討委員会を年4回開催し、給食指導の在り方や食育の取組、アレルギー対応の体制等について研修を行うとともに、献立案について審議することで、児童生徒の健康増進と食への関心を高めた。 新給食センターの稼働に向け、食物アレルギー対応の手引きを改訂し、各校に周知を図った。 ----- ≪課題≫ 食物アレルギー対応について校内管理体制の徹底を図る必要がある。また、より効果的な指導に取り組むため、教科横断的な食育推進計画等の改善を図るとともに、食育推進体制の一層の充実が必要である。	—

【区分】学力向上の推進

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
小学校非常勤講師配置事業 (学校教育課)	<p>小学校に非常勤講師を配置し、少人数指導やチームティーチング、専科指導を充実させることで、基礎学力の定着や落ち着いた学習環境づくりを推進し、人間力の育成を図る。</p> <p>通級指導教室に就学前の幼児やその保護者の教育相談を行う指導員を配置して支援を行う。</p> <p>複式学級が発生する小学校に非常勤講師を配置して適切な教科指導を行う。</p>	B	<p>《成果》 各配置クラスの課題に応じて少人数指導やチームティーチング、教科担任制に向けて専科指導等を行うことで、子どもたちの実態に即したきめ細やかな指導に取り組み、基礎基本の定着に成果があった。 幼児通級を荘内小学校に新設し、就学前の幼児の教育相談等の充実を図ることができた。 また、複式学級については非常勤講師を配置することで、当該学年に分けて教科指導を行った。</p> <p>《課題》 学校の状況に応じて非常勤講師の配置を行ったが、人員確保に加え、教科担任制に向けた専門的な指導については、指導力の向上等、さらなる改善を図る必要がある。</p>	26,156
中学校非常勤講師配置事業 (学校教育課)	<p>中学校で少人数指導やTT指導、個別指導等を実施するため、市費による非常勤講師を配置し、生徒の学力向上や落ち着いた学習環境づくりを推進し、人間力の育成を図る。</p>	B	<p>《成果》 TT指導や少人数指導等の指導法の工夫により、生徒の困り感に寄り添ったきめ細やかな指導を実施することができ、落ち着いた学習環境の確保等に成果があった。</p> <p>《課題》 落ち着いた学習環境確保等の生徒指導上の成果はあるが、少人数指導の一層の充実により学力向上の数値的成果は一層現れるのではないかとと思われる。</p>	10,141
グローバル人材育成事業 (学校教育課)	<p>小学校の英語授業において、オンライン上での外国人との交流体験を実施し、英語を使うことに喜びを感じる児童を育成する。</p>	B	<p>《成果》 オンラインで外国とつなぎ、実際にコミュニケーションを図ることにより、より多くの英語に触れ、話すことに積極的に取り組み、外国人との交流に充実感を味わうことができた。</p> <p>《課題》 一度に複数の端末をつなぎ、グループで英会話を行うため、指導の形態、場所の確保等、オンライン学習の実施方法については課題が見られた。今後はALTの配置により、より充実を図っていく必要がある。</p>	1,573

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
学校経営アクションプラン作成と実践 〈学校教育課〉	全国・岡山県学力・学習状況調査等を用いて子どもたちの実態を的確に把握し、各校において学力向上プラン及び心の教育推進プランを作成するとともに、作成したプランに沿って、継続的に様々な取組を推進し、県及び市教育委員会は学校経営に対して指導助言する。	B	≪成果≫ 各校が作成した学校経営アクションプランに基づき、年間を通して、学力向上のための計画的・継続的な取組を行い、授業改善や補充学習、家庭学習への啓発等の多角的な学力向上の取組の改善を図ることができた。 ≪課題≫ 学力向上のための取組は充実し、落ち着いた学習環境は実現したものの、学力状況調査での数値には、学校間格差等の課題があるため、各校で調査結果を検証し、課題を把握した上で、各校の実態に応じた取組内容（授業改善、基礎基本の定着のための取組、家庭への啓発等）の検討が必要である。	-

【区分】特別支援教育の充実

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
特別支援教育ネットワーク連絡協議会 〈学校教育課〉	障害のある幼児・児童生徒の社会的自立を目指して、早期からの適切な支援を行うとともに、中学校区を単位とした地域支援ネットワーク体制の充実を図る。	B	≪成果≫ 地域のネットワーク体制が充実してきており、各校園で継続的な支援のための「個別の支援ファイル」を作成するとともに、各中学校区で合同研修会を設けたり、適切な就学先の決定に向け、支援の充実のための情報共有に取り組んだりすることができた。 ≪課題≫ 対象児の進学に伴い、就学前から小学校、小学校から中学校に所属が変わっても効果的な情報連携と支援の継続ができる中学校区組織とするために、共通支援シートの検討を含め、適切な就学指導をさらに充実させる必要がある。	—
特別支援教育サポートチームの派遣 〈学校教育課〉	障害のある幼児・児童生徒に対して障害の特性に応じた適切な指導を行うことができるよう、専門家等で組織するサポートチームを編成し、各校・園に対する支援訪問を行い、特別支援教育に係る様々な課題の解決を図る。	B	≪成果≫ 校園の要請に応じ、専門家チームが支援訪問を行い、ケース会議への助言や課題分析等を通して特別支援教育に係る課題解決を図った。 ≪課題≫ ケースによっては困難かつ複雑化しているものもある。校園とサポートチームとの連携ができるよう、日常的に情報を集約するとともに、適切な支援のあり方について検討が必要である。	—

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
授業のユニバーサルデザインの推進 (学校教育課)	特別支援教育の視点に立った授業改善を推進し、全ての子どもが「わかる・できる」を実感できる授業の構築に取り組む。	B	<p>《成果》 学力向上研修会等の各種研修会において、授業のユニバーサルデザインによる授業改善のポイントについて研修し、全ての子どもが「わかる・できる・楽しい」授業づくりの取組を推進するとともに、指導主事の学校への支援訪問を拡充し、授業改善について指導・助言を行い、授業実践力の向上を図ることができた。</p> <p>《課題》 県の広域人事交流の方針により、教員の市外への人事異動が加速化するため、今後、人が代わっても継続できる授業改善の方針の定着を図る必要がある。</p>	—
玉野市特別支援教育推進センター整備 <学校教育課>	荘内小学校に「玉野市特別支援教育推進センター」を設置し、域内の児童発達支援センター等との連携による就学指導や長時間通級等の多様な学びの場の整備を進め、一人一人の児童への計画的な支援を行う。また、市内の通級指導教室と連携を図りながら、特別支援教育の拠点となる体制整備を推進する。	A	<p>《成果》 荘内小学校に玉野市特別支援教育推進センターとして、長時間通級や特別支援教室を設置している。また、センター長である教頭を中心として市内全体に向けての特別支援教育に関する研修会の開催や、適切な就学指導に向けての連携を図ることができた。</p> <p>《課題》 市内の特別支援教育の拠点として、体制整備が進んでいる。さらなる充実を図るため、市内全体での体制づくりを進めていく必要がある。</p>	—

【区分】保育士・教員等の指導力向上

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
保育協議会研修会の実施 <就学前教育課>	保育士等の職種別に専門的な研修を実施し、保育に必要な知識・技能の習得を図り、職員の資質向上を図る。	A	<<成果>> 玉野市保育協議会に委託して、様々な研修を実施し、保育園の運営に必要な多種多様な分野での知見を深め、全体のレベルアップに努めることができた。 令和4年度実施内容 ・給食研修 ・レクリエーション実技（乳児・幼児） ・障害児研修 ・乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達 ・ドキュメンテーション ・わらべうた ・幼児の絵画・制作 ・「夢見る小学校」DVD研修 ・オンライン運動会実技研修 ・保育研究推進報告会 ・用務員研修 <<課題>> 保育園の運営上、ローテーションにより勤務が割り振られているため、受講希望があっても研修日程に調整がつかず、参加できない場合がある。	100 (県)50
幼児教育推進体制の充実・活用強化事業 (国) <就学前教育課>	新幼稚園教育要領や新保育所保育指針等を踏まえ、就学前園と小学校の円滑な接続や就学前教育保育に携わる職員を対象として研修の充実に努め、就学前教育保育の質の向上を図る。	A	<<成果>> 玉野市就学前教育センターが中心となり、私立を含む市内全ての幼保施設へ訪問指導を複数回にわたり行い、質の充実に努めることができた。 また、採用1年目から3年目までの若手職員を対象に、毎月1回、巡回指導を行い、質の充実に努めることができた。 <<課題>> コロナ禍のため、園小連携に関する取組を積極的に行うことができなかったが、5類移行を受け、コロナ以前の状態に復元するよう取り組む必要がある。	8,338 (国)4,169

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
各種研修会の実施 〈学校教育課〉	教育課程研修会、教育支援研修会等を実施し、幼・小・中・高等学校の教員を対象に指導力や企画運営力を育成するための様々な研修会を実施する。	B	<p>《成果》 コロナ禍において、オンライン研修等実施方法を工夫しながら、市教委主催の研修会を約30回開催するとともに、各校でも様々な研修を実施するなど、教職員の資質向上に努めた。玉野の教育施策の周知徹底に成果があった。</p> <p>《課題》 教職員の負担軽減のため、研修会の精選を進めていく必要がある。また、研修と学校の校内研修の接続が行われるよう、研修の在り方についても検討が必要である。</p>	—

【区分】教育環境の整備

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
教職員の働き方 改革推進 〈学校教育課〉	玉野市教職員働き方改革推進プランに基づきながら、学校行事の精選や校内業務の効率化、教育委員会からの依頼等の見直しや多角的な学校における業務改善に取り組むとともに、ワークライフバランスを意識した働き方に対する教職員の意識の醸成、教育の質を高める本来業務の徹底を推進する。	B	<p>《成果》</p> <p>市内全体で教職員の働き方改革を推進している。コロナ禍において、部活動の削減や学校行事の精選、業務内容の効率化等が積極的に行われた。</p> <p>特に小学校においては、時間外勤務時間の状況が毎年改善されてきている。</p> <p>《課題》</p> <p>法的にも時間外勤務時間の上限を遵守していくことが求められているが、働き方改革の取組には大きな個人差があるため、教職員個々の意識改革とともに、さらに業務改善を進めていく必要がある。</p> <p>特に中学校については、部活動の効率化、外部人材への指導の移行等を検討していく必要がある。</p> <p>コロナ禍での教育活動を制限された中で、行事の精選や実施方法の工夫、オンラインの活用など様々な取組を進めてきた。通常のエデュケーション活動に戻りつつあるが、コロナ禍での工夫を今後の教育活動の中で生かすことが大切である。</p>	—
学校事務の共同 実施 〈学校教育課〉	学校事務の共同実施により、情報交換や相互支援を行い、より一層正確で質の高い学校事務の実施を推進するとともに学校事務職員の専門性を生かした学校運営への参画意識を高め、学校事務職員の人材育成を図る。	A	<p>《成果》</p> <p>共同学校事務室協議会や各共同学校事務室の定例会の充実により、運営や取組内容について充実を図ることができた。</p> <p>県の新給与システムへの対応について、共同実施組織での対応により、円滑に移行することができた。学校事務職員の学校運営への参画意識が向上し、効果的な業務遂行に繋がっている。</p> <p>《課題》</p> <p>学校事務職員の急激な若返りにより、共同学校事務室を活用した人材育成の取組の継続が必要である。</p> <p>学校事務職員の学校運営への参画意識を一層高め、校務を整理していく必要がある。</p>	—

事業名	内 容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
中学校区一貫教育の充実 〈学校教育課〉	<p>中学校区内の小・中学校が、行動連携を図り、学力向上や規範意識の醸成等について継続的・計画的な指導を行い、子どもたちの健全育成に努めるとともに、就学前教育保育を含めた中学校区一貫教育充実に向け、キャリア教育と学力向上を柱として取組を進める。</p> <p>また、中学校区一貫教育の充実を図るとともに、教員の資質を向上し、授業力を高めるため、中学校区を指定して、地域の課題に応じた教科領域の研究に取り組み、市内全体に研究成果を広める。 (宇野中学校区実施)</p>	A	<p>《成果》 中学校区内の小・中学校の教員が相互に授業参観し、共同で研究協議を行うことで、発達段階を踏まえた系統的な学習指導等に取り組むとともに、中学校区の生活心得による行動連携の充実を図りながら、地域の子どもの連携して育成する機運が醸成している。</p> <p>また、園小接続プログラムの実施により、段差のない接続ができています。</p> <p>特に、研究指定の宇野中学校区では、様々な分野での連携について研究が進められている。</p> <hr/> <p>《課題》 今後、生徒指導・特別支援教育上の課題解決や学力向上・キャリア教育の推進等について連携をさらに推進し、中学校区一貫教育の一層の充実を図っていく必要がある。</p>	—
未来の学校・園づくりの推進 〈学校教育課〉	<p>「未来の学校づくり推進モデル校」を指定し、中学校区一貫教育のさらなる充実を試行する。モデル校の取組を基に、新しい学校のあり方を提案し、義務教育学校等の未来の学校づくりや学校の適正規模化を長期的な視点で検討していく。</p>	A	<p>《成果》 未来の学校づくり推進モデル校は、中学校教員による小学校への訪問授業や、小学生による中学校への1日体験入学等様々な新しい取組を実践し、これらの取組を通して、中学生は自覚と自己肯定感の育成、小学生は中学校への期待と信頼の醸成を図ることができた。さらに、2月には実践発表会を開催し、小中学校の教職員が目指すべき同じ方向を向いて、9年間を見据えた子どもたちの育成のため、共通認識・共通理解を図ることができた。</p> <hr/> <p>《課題》 今後も、小中連携の推進を継続しさらに充実した取組を図りながら、新しい学校のあり方が検証できるように、組織や体制の構築や整備等が課題となる。</p>	

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
玉野市立学校将来計画策定事業 (玉野市立学校適正規模化計画策定事業) (教育総務課)	複式学級の解消を図りつつ、今後の教育環境の変化等も考慮しながら、教育活動のより一層の活性化を図るため、今後策定する予定である「玉野市立学校将来計画」の基礎となる「玉野市立学校適正規模化計画」を策定する。	B	<p>《成果》 玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、適正規模に関する諮問を行った。 会議開催回数 3回</p> <p>《課題》 令和5年8月に検討委員会の答申が出る予定であったが、遅れている。答申が出た後、速やかに適正規模化計画案の策定に着手するが、保護者や地域に対し、計画案について丁寧に説明していく必要があるため、当初の予定より、計画の公表が大幅に遅れる見込みである。</p>	212
学校教育充実のための支援人材配置 学校サポートスタッフ配置事業 小1グッドスタート支援事業 (県) <学校教育課>	<p>学校教育の充実と教職員の勤務負担軽減等を目的として、様々な支援人材を配置する。</p> <p>教師業務のアシストや部活動指導への支援、障害や虐待、その他様々な課題のある幼児・児童生徒への支援等、様々な教師業務をサポートするためのスタッフを配置し、適切な指導支援の充実と教職員の勤務負担軽減に取り組む。</p> <p>30人以上が在籍する小学校1年生の学級に支援員を配置して円滑な学校生活のはじまりを支援する。</p>	B	<p>《成果》 発達障害等様々な課題のある幼児・児童・生徒に対して支援者を配置することで、生活や学習の場面において、きめ細やかな支援を実施することができた。 教師業務をサポートすることで教職員の勤務負担軽減に繋がった。</p> <p>《課題》 特性を持った児童生徒や多様な支援を要する児童生徒が増加しており、学校サポートスタッフ配置を希望する学校も多い。希望校全ての配置は難しいため、各校の状況や実態を把握し、適切な配置により指導支援の充実を図ることが課題となる。 今後さらに成果を上げるためには、管理職による効果的なマネジメントを行う必要がある。</p>	—

【区分】安全・安心の確保

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
地域パトロール隊 〈学校教育課〉	小学校を単位とする地域住民や関係機関のボランティアによるパトロール隊の協力を得て、子どもたちの安全の確保を図る。	A	≪成果≫ 各小学校区において老人会やコミュニティの協力を得て、小学生の登下校時の安全確保を図ることができた。 また、登下校の安全確保だけでなく、地域住民との関わりにおいても非常に効果がある取組となっている。 ----- ≪課題≫ 現在、地域の後継者不足が深刻化しており、人員確保が課題である。	-

【区分】市立高校の充実

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
市立高校の魅力づくり 〈学校教育課〉	中学校卒業生数が減少していく中で、キャリア教育を柱とした市立高校の魅力づくりを推進する。玉野商工高校では、コミュニティ・スクールによる地域を教育フィールドにした商業教育と工業教育の共同学習等を推進し、玉野備南高校では学び直しができる学校としての体制を整備する。	B	<p>《成果》</p> <p>市立高校在り方検討会議からの意見を受け、各校では学校の目標を整理し、市立高校の使命である地域の活性化に寄与する人材育成を目指した取組を進めている。</p> <p>商工高校では、地域に貢献する人材育成のための教育プロセス「CoCoLoの教育」を推進して、地域や地元企業と連携した系統的・発展的な教育課程を編制し、備南高校では個々の学習課題解決に向けた学び直しのための学校設定科目を構築できた。</p> <p>《課題》</p> <p>商工高校では、中学校卒業生数の減少が続く中、今後の定員確保が課題である。</p> <p>備南高校では通級指導のための加配教員を要望していく必要がある。</p>	—
高等学校非常勤講師配置事業 〈学校教育課〉	市立高等学校の授業を充実させるため、非常勤講師を配置させるとともに、専門的指導が困難な部活動へ部活動指導員を配置する。 (商工高、備南高)	B	<p>《成果》</p> <p>非常勤講師や部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減と生徒への競技の専門的な指導の充実を図ることができた。</p> <p>《課題》</p> <p>講師や指導員の人員確保が必要である。</p>	
機械科非常勤講師配置事業 〈学校教育課〉	商工高校機械科の授業充実のため、非常勤講師や特別非常勤講師を配置する。	B	<p>《成果》</p> <p>企業の社員やOBである熟練の技を持つ特別非常勤講師から、実践的な旋盤や溶接等の指導を受けることにより、生徒の技術力が向上した。</p> <p>《課題》</p> <p>今後の事業継続のための人材確保が必要である。</p>	

【区分】スポーツ・文化芸術活動の振興

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
競技スポーツ振興事業 〈学校教育課〉	競技力の向上及び競技スポーツの推進を図るため、市立の中・高等学校の運動部活動に所属し、県内予選会等を経て中国大会以上の規模の大会に出場する団体・個人に対して、激励会を開催し、激励金を支給する。	B	≪成果≫ 令和4年度は、弓道、陸上競技、新体操等で中国・全国大会に出場した1団体、10名の生徒に激励金を支給した。 ----- ≪課題≫ 学校に対して、申請漏れがないよう引き続き広報する必要がある。 また、今後は部活動の地域移行が見込まれるため、学校外の団体に所属する生徒の激励会申請の方式について整備する必要がある。	95
玉野市立学校文化・芸術活動等育成事業 〈学校教育課〉	玉野市立学校において、文化・芸術活動等に積極的に取り組む個人・団体の育成を図るため、祝い金を支給する。	—	≪成果≫ 令和4年度は、申請が0件であり、激励会は非開催であった。 ----- ≪課題≫ スポーツ振興事業と比較して申請件数が少ない。市内で文化・芸術活動に取り組む個人や団体の育成を図れるよう、制度の周知を図る必要がある。	0

【区分】家庭・地域との連携

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
学校運営協議会の充実 〈学校教育課〉	コミュニティ・スクール制度を推進し、「地域とともにある学校」として、保護者及び地域住民の学校運営への参画を進め、学校・家庭・地域社会の役割と責任を明確にしながら、教育力を相互に高め、共に連携・協働する体制を構築する。	B	<p>《成果》 備南高校にも学校運営協議会が設置され、小・中・高校の全学校において学校運営協議会の設置を実現した。地域に対して学校の教育目標や方針、課題等を説明し、子どもの教育に対する学校と地域の役割を共通理解した。</p> <p>《課題》 今後、具体的に学校と地域が連携して学校教育を盛り上げ、人材育成に取り組む実績を積み上げていく必要がある。 また、学校運営協議会の制度や目的について再度確認し、より充実を図る必要がある。</p>	—
教育委員懇談会 〈教育総務課〉	地域住民の多様な意向や、保護者の教育に対するの期待をよりの確に把握する一方法として、教育委員と関係団体等とがテーマに沿った懇談を行い、教育行政に反映させる。	A	<p>《成果》 小学校長、中学校長、教諭8人から取組内容や課題等を聞き、生徒指導に関する施策立案の一助とした。また、学校給食センター所長、栄養教諭等5人から学校給食の現状や食育について聞き、学校給食及び食育に関する施策立案の一助とした。</p> <p>《課題》 様々な立場から多角的な意見を伺えるよう、引き続き現場の声や意見の掌握に努めたい。</p>	—
生徒地域貢献活動補助事業 〈学校教育課〉	市立高校がキャリア教育の一環として実施する地域貢献活動等の活性化を図る。	B	<p>《成果》 地域でのボランティア活動に積極的に取り組み、生徒が作製したベンチを市内公園へ寄贈し、地元企業と連携して商品開発を行う地域貢献活動等に取り組んだ。 また、「キッズビジネスタウンたまの」には多数の小学生の応募・参加があり、小学生の職業観等の育成を図ることができた。</p> <p>《課題》 学校規模が限られているため、希望する小学生全員を受け入れることが困難である。</p>	—

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
園と家庭のかけはし事業 〈就学前教育課〉	市内の保育園・認定こども園・幼稚園に通う3歳児から5歳児の幼児がいる家庭に「かけはしノート」を配布し、幼児の成長の姿を記録して園と家庭が信頼関係を構築し、協力して子育てに取り組む。	A	<p>〈成果〉 保育者の幼児理解と、保護者との連携・信頼関係を深める成果があり、保護者の子育てへの支援に効果的であった。</p> <p>〈課題〉 教員に過度な負担がかからないよう、現場の意見も取り入れながら、状況に応じてICTを活用し、効率化を見据えた検討をする必要がある。</p>	33

Ⅲ. 生きがいにあふれた人生を育む生涯学習の振興

【区分】生涯学習の推進

※ 決算額二段書き下段は、決算額のうち交付金等の額

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
生涯学習人材バンク 〈社会教育課〉	文化・芸術・レクリエーション活動等において、優れた知識・技能を有している人を指導者として登録してもらい、市民の多様な学習活動を支援するとともに、人材の有効な活用を図る。	B	<p>《成果》 市民の学習活動を支援することで生涯学習活動を推進している。</p> <p>《課題》 講師登録内容と周知の充実を図るとともに、市民の学習ニーズに合致した体制づくりに努める。</p>	—
生涯学習施策推進事業 〈社会教育課〉	毎年実施される生涯学習推進協議会で事業の効果を確認しつつ、生涯学習施策を推進し、人づくり・地域づくりなどを図る。	B	<p>《成果》 関係部署及び教育機関を含めて全庁あげて、市民が主体的に学習活動に取り組めるよう支援した。受講ニーズの把握に努め、地域コミュニティと連携した事業も充実させ、学習意欲の向上を図った。</p> <p>《課題》 「まなぶ」「いかす」「つながる」「ひろがる」の4つの方針を関連づけつつ、来年度に向けて、見直しや実施効果を高める改善への取組を十分に進める必要がある。</p>	—
まちづくり出前講座 〈社会教育課〉	市職員や市民ボランティアが講師となり、「出前」をして講演を行い、市民の自主的な生涯学習やまちづくりの活動を支援する。	B	<p>《成果》 現代社会に合ったメニューを提供するため、市民のニーズを把握し、毎年メニューを見直している。 講座受講数は、31年度243件、2年度129件、3年度223件、4年度274件の受講があった。コロナ禍前の実施件数に戻りつつある。また、受講者の年齢等に合わせ、講義内容が変更されている講座もあり、継続した必要がある。</p> <p>《課題》 市民ニーズが高い、「救急」や「防災」講座の受講数は多いが、他講座との差が大きい。広報活動や講座提供のない課への呼びかけ等により、より充実したメニューの提供に努める。 また、他の講座事業との組み合わせやスリム化なども検討していく。 ただ、人気講座であっても、人員の減少により、削除を希望する講座があった。</p>	—

【区分】人権教育の推進

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
<p>人権教育推進事業 〈社会教育課〉</p>	<p>様々な人権問題に関する講座を開設し、広く市民に学習機会を提供するとともに、市内保育園・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校のPTAを対象とした学習を行い、広く人権問題の解決に資する。</p> <p>また、保育園・認定こども園・幼稚園の保護者を対象とした就学前人権研修会を開催し、人権意識を高める教育環境の充実を図る。</p>	<p>A</p>	<p>《成果》 人権教育推進委員会、小・中学校PTA人権教育研修会、就学前人権教育研修会、人権教育課題別研修講座(全5回)等を開催し、人権課題についての学習機会を提供した。各講座では、障がい者スポーツの体験会などの体験的なプログラムを行ったり、グループワークを取り入れたりして、参加者が能動的に取り組むことができるように工夫し、広く市民に啓発を行った。</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止に努めながら開催した。</p> <p>《課題》 各研修会や研修講座のアンケートの結果をもとに市民のニーズを知るとともに、ワークショップ形式での研修や体験的な内容の研修等、内容や研修形態をさらに工夫しながら参加者を増やし、人権意識の高揚を図っていくことが課題である。一般市民の方々に多く参加していただくために、広報活動を行っていきたい。</p>	<p>88</p>

【区分】青少年健全育成活動の推進

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
補導活動の推進 〈社会教育課〉	街頭補導・特別補導・地区補導等に積極的に取り組み、問題行動の把握に努め、青少年の健全育成を図る。	B	<p>《成果》</p> <p>補導は、1年を通して計157回実施し、育成センター職員、健全育成指導員、教職員、PTA等延べ414人が参加した。得た情報は学校等関係機関に連絡し対応した。大きな問題はなく、青少年の健全育成、とりわけ非行の抑止力としての成果につながった。</p> <p>《課題》</p> <p>万引き防止や自転車の鍵かけ運動などに重点を置いて活動している。非行が起こりにくい地域づくりが求められる。コロナ禍で中止となる活動もあり、アフターコロナの取り組みについて準備が必要である。</p>	—
広報啓発活動と関係機関との連携 〈社会教育課〉	機関誌「みちびき」を発行し、青少年の健全育成や非行防止の啓発に努める。また、青少年健全育成指導員と小学校・中学校及び高等学校を訪問したり、他機関と情報共有を積極的に行ったりしながら連携を深め、実態把握と問題解決を図る。	B	<p>《成果》</p> <p>「みちびき」は、4月と奇数月の年7回、各1235部発行し、学校、園、警察、青少年育成団体、行政機関等の関係団体に配布している。「市内の補導状況」「規範意識の確立」「教育サポートセンター相談状況」「スマートフォンやインターネットの適切な利用」などの記事を掲載し、健全育成に対する理解や関心を高めることができた。3年度同様、コロナ禍により、市内の学校を訪問しての情報交換ができず、コロナ禍による影響を大きく受けた。</p> <p>《課題》</p> <p>コロナ禍で学校訪問による情報交換が実施できていないが、感染収束の状況をみながら実施し、問題点やその対応について共通理解を図るとともに、コロナ禍による影響を受けない手法の検討が必要である。</p>	—

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
環境浄化活動 〈社会教育課〉	環境美化助成事業の普及ならびに青少年健全育成機関と連携を図りながら、青少年に悪影響を及ぼす社会環境の浄化に努める。	B	<p>《成果》</p> <p>青少年に害を及ぼすおそれのある看板・張り紙等の広告物や目立った落書きはほとんど見かけなくなっている。書店やコンビニでの有害図書の販売方法や酒・たばこ販売時の年齢確認の徹底等、常に環境浄化を意識しながら補導活動を実施し、店舗等の協力を得ることができている。また、「正しく使おうケイタイ・スマホ」のティッシュを青少年に配るなどの啓発活動を行い、意識付けを図った。</p> <p>《課題》</p> <p>青少年を取り巻く環境が急速に変化し、スマートフォン・インターネットのサイト等で被害に遭うケースが増加している。啓発活動を継続し適切な利用を推進したい。</p>	—
不審者対策 〈社会教育課〉	警察・PTA・青少年健全育成連絡協議会等、関係諸団体と連携を図りながら巡回活動や看板設置に取り組み、安全確保に努める。また、地域の協力を得ながら、登下校の安全確保に努める。	B	<p>《成果》</p> <p>青少年健全育成団体等連携をとりながら日頃の補導や見守り活動を続け、青少年の安全安心に寄与していると思われる。また、市内の「こども110番のいえ」は現在429軒あり、不審者からの避難場所として定着してきた。登録している「こども110番のいえ」については、各小学校に調査を依頼し、新規の登録や点検確認を行いステッカーも順次新しいものに取り替えている。</p> <p>《課題》</p> <p>子どもたちがいざというときに安全に避難することができるように、更に周知・徹底する必要がある。また、一部で高齢化が進んでいるため、新たな担い手の発掘も課題である。</p>	—

【区分】スポーツの推進

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
総合型地域スポーツクラブ育成事業 〈社会教育課〉	市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに携わることのできる、生涯スポーツのための環境の整備を目指す。	A	<p>《成果》</p> <p>レクセセンターでヨガやダンス、バドミントン、卓球、インドアテニスなど各種スポーツクラブ教室を開催することで、多くの市民にスポーツに接する機会を提供し、生涯スポーツの環境整備に努めた。</p> <p>・教室数：52教室</p> <p>《課題》</p> <p>財源確保など安定したクラブ運営が課題である。</p>	—
スポーツ指導者研修会開催事業 〈社会教育課〉	スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者等の資質の向上を図り、スポーツ活動のより一層の普及・充実を図る。	A	<p>《成果》</p> <p>継続的に研修会を開催することで、スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者としての技能・知識習得を図り、ニーズに沿った適切な指導ができる人材の養成につながった。</p> <p>・回数：毎年1回（2月開催）</p> <p>《課題》</p> <p>指導者の人材確保とスムーズな世代交代が図れるよう引き続きサポートが必要である。</p>	—
競技スポーツ推進事業 〈社会教育課〉	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ（部）等の育成と競技力の向上・推進を図るため激励金を支給する。	B	<p>《成果》</p> <p>社会体育における全国大会（相当）以上出場者（チーム）に対し、激励会を開催すると共に激励金を支給し、選手の気運醸成及び競技水準の向上を図った。申請件数は22件。</p> <p>《課題》</p> <p>市公式のホームページ、フェイスブックなどSNS媒体等を活用したPRは行っているが制度の周知不足は否めず、公平性の観点から引き続き周知に務める必要がある。</p>	185

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
トップアスリート招へい事業 〈社会教育課〉	本市の競技スポーツの発展を担う人材の育成並びに生涯スポーツの振興を図ることを目的に、国内外で活躍するアスリート・指導者を招へいし、子どもたちが優れたスポーツ技術等に接する機会を広く提供する。	B	<p>《成果》</p> <p>2団体へ補助を実施し、合計115人が参加した。</p> <p>招へいしたトップアスリートによる指導を通じて技術力の向上や、夢や目標を持つこと大切さ、トップレベルの選手の経験や知識に触れる良い機会となった。</p> <p>《課題》</p> <p>選考会を経て決定しているが、毎年申請団体が固定されている。事業の周知について工夫が必要である。</p>	500
スポーツ施策推進事業 〈社会教育課〉	平成25年度に策定した「玉野市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ関係団体等と連携し、各種スポーツ施策を計画的に推進する。 また、「玉野市スポーツ推進審議会」を通じて、各種施策の進捗状況の検証並びに進行管理に努める。	A	<p>《成果》</p> <p>スポーツイベントの開催支援をはじめ、スポーツクラブ教室のメニュー充実など、計画に掲げた施策の推進・充実が図れた。また、審議会は様々なスポーツ分野の代表で構成されており、毎年の進捗状況の検証では委員から率直な意見を聴取できるため、利用者ニーズや要望を掴む良い機会となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツイベント イベント数：5種類 開催回数：22回 参加者数：982人 ○スポーツクラブ教室 教室数：52教室 開催回数：1,733回 参加者数：27,613人 <p>《課題》</p> <p>未着手の施策については、実施手法の検討や関係団体との連携を探るなど引き続き実施に向けた調整を図る必要がある。</p>	—

【区分】地域文化の振興

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)										
玉野美術秀作展 事業 〈社会教育課〉	県展または中央展で入選した市内在住の作家の作品（洋画・日本画・水墨画・書道）を展示し、市民が芸術文化に触れる機会を提供する。	B	<p>《成果》</p> <p>3年ぶりの開催となったが、観覧者数が1,275人と、新型コロナウイルスの影響により大きく減少した。</p> <p>鑑賞者数延</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,275人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,836人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,857人</td> </tr> </table> <p>《課題》</p> <p>受付業務をボランティアに依頼したが、会期が長いため、負担が大きくなっている。また、稼働率が高いギャラリーでの利用調整が難しい状況である。</p>	令和4年度	1,275人	令和3年度	中止	令和2年度	中止	令和元年度	1,836人	平成30年度	1,857人	-
令和4年度	1,275人													
令和3年度	中止													
令和2年度	中止													
令和元年度	1,836人													
平成30年度	1,857人													
市民コンサート 開催事業 〈社会教育課〉	市民主体の演奏会等を実施し、市民の音楽への関心を高めるとともに、市内の音楽団体の活性化を目指して事業を実施する。	B	<p>《成果》</p> <p>玉野吹奏楽フェスティバル、玉野合唱祭、2022市民コンサートを実施し、延べ入場者数は392人となった。</p> <p>来場者数延</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>392人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>118人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,064人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>858人</td> </tr> </table> <p>《課題》</p> <p>より多くの市民に音楽に関心を持ってもらえるようコンサートの周知と内容の充実に努める。また、会場としていた施設が老朽化により閉館したため、レクセセンターといった代替施設の検討が必要である。</p>	令和4年度	392人	令和3年度	118人	令和2年度	中止	令和元年度	1,064人	平成30年度	858人	270
令和4年度	392人													
令和3年度	118人													
令和2年度	中止													
令和元年度	1,064人													
平成30年度	858人													

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
文化・スポーツ 顕彰事業 (社会教育課)	文化・スポーツの分野において優秀な成績を収めたり、長年にわたりその普及・振興に尽くした個人または団体を表彰し、本市の文化・スポーツの充実・発展に資する。	A	<p>《成果》 6個人（文化4個人、スポーツ2個人）を表彰した。表彰制度は各分野で長年活動を続けている個人、団体にとって励みとなり、生涯学習の推進の一助となった。</p> <p>《課題》 （スポーツ）競技団体からの推薦者以外で、全国大会等で優秀な成績を収めた者が本市出身者かどうかの把握が困難である。 （文化）表彰対象となる個人や団体の把握が困難であるため、今後も関係団体に推薦依頼し、各分野で活動を続けている個人、団体にとって表彰制度が活動の励みとなるように啓発する必要がある。</p>	230
芸術文化振興助成事業 (社会教育課)	市内各地に伝わる文化・芸能等の保存育成、新たな創造活動に対し、助成や支援を行う。	—	<p>《成果》 令和4年度の申請件数は0件であった。</p> <p>《課題》 現在は再申請を可能（助成を受けてから5年間は不可）としているので、芸術文化活動を行う団体に対して制度の有効活用を図り、本市の文化振興に繋がるよう周知する必要がある。</p>	0

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
短歌「西行賞」 表彰事業 〈社会教育課〉	全国から短歌を募集し、優れた作品に「西行賞」等を贈り、地域文化の創出と感性の薫る玉野の創造を図る。	A	≪成果≫ 短歌を募集し、優れた作品に「西行賞」（西行賞1点、優秀賞3点、佳作6点、特別賞3点）を贈り、玉野の地域文化の創出等を図った。 平成26年度から市内の高校の授業の一環として短歌の投稿に協力いただき、受賞への目標とともに短歌への関心を深めることができている。 また、若年層への普及啓発や投稿へ向けた特別講座の開催、コンテスト情報サイト「コンペの登竜門」への掲載以降、全体の投稿者数は増加している。 また、海外からの投稿があるなど、広く周知されている。 （応募者：388人、503首） <hr/> ≪課題≫ コンペの登竜門への掲載により応募者は増加したが、特別講座の参加者が固定化しつつあるので、新規参加者が増加するような広報活動等を検討し、玉野市の観光振興等の魅力を加えた文化振興へ繋げる必要がある。	230

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
文化財保護・整備事業 (社会教育課)	歴史講座等の開催や広報紙への市指定文化財の記事掲載など文化財の周知を行い、文化財保護の意識高揚を図る。必要に応じて、市指定文化財案内板の付け替えを行う。	B	<p>《成果》</p> <p>文化財保護委員会の開催や文化財保護研修に参加し、貴重な文化財の保護・管理に努めた。また、本市の文化や郷土の歴史を紹介する郷土資料展示コーナーや、文化財強調週間イベント等を活用し、歴史や文化意識の高揚を図った。例年、新小学3年生全員に「玉野市文化財地図」を配布し、学習教材の一つとして活用し、地域の自然や歴史・文化・伝統などへの愛着と誇りをもつきっかけづくりに繋げている。</p> <p>《課題》</p> <p>文化財への関心を高める効果的な広報活動や、貴重な文化財の保存、整備に努めるために、専門的な知識を持った職員が必要である。</p> <p>また、近年、文化財は地域振興や観光振興などに資するものとの意識が高まっており、本市における文化資源の活用及び歴史的建造物の保存保護、継承が課題である。</p> <p>また、「玉野市文化財地図」が小学3年生には内容が難しいため、簡略版の作成を検討する。</p>	342
トップアーティスト招へい事業 (社会教育課)	本市の芸術文化を担う人材の育成ならびに本市芸術文化の振興に資することを目的に、国内外で活躍するアーティスト・指導者等を招へいし、子ども等に優れた芸術文化に接する機会を広く提供する。	B	<p>《成果》</p> <p>1団体に補助を行い、130人が参加した。生徒が興味、関心を示す事業（演奏会等）を実施するなど、本物の芸術文化に触れるよい機会となった。</p> <p>《課題》</p> <p>選考会を経て決定しているが、毎年申請団体が固定されている。事業の周知について工夫が必要である。また、本事業は、平成21年度の開始から13年が経過していることから、事業内容の見直しを含め検討していきたい。</p>	250

令和4年度 就学前園・学校の施設整備等

主な事業名	内容	決算額 (千円)
小学校施設整備事業	・築港小 警報盤取替	1,870
	・大崎小 職員室空調取替	891
	・宇野小 職員室空調取替	1,694
	・鉾立小 配膳室プラットホーム整備	2,508
	・宇野小 電灯トランス改修	726
	・宇野小 校舎屋上防水改修	5,225
小学校大規模改造事業	・荘内小 校舎便所洋式化改修	6,358
	・宇野小 校舎便所改修（実施設計）	2,312
	・玉小 体育館屋根外壁改修	35,090
中学校施設整備事業	・荘内中 通級指導教室空調設置	1,144
	・山田中 配膳室プラットホーム整備	3,861
	・玉中 配膳室プラットホーム整備	3,014
	・日比中 高圧交流気中負荷開閉器改修	550
	・荘内中 電灯トランス改修	1,001
中学校大規模改造事業	・宇野中 空調改修	6,468
	・山田中 空調改修	4,466
	・日比中 空調改修	4,587
	・玉中 空調改修	4,466
	・荘内中 空調改修	6,149
	・東児中 空調改修	6,633
	・日比中、荘内中 校舎便所改修（実施設計）	4,509
商工高等学校施設整備事業	・実習室、職員室空調改修	11,924
感染症関係費	・自動水栓設置 小学校14校 261か所 中学校7校 122か所	19,831
幼稚園施設整備事業	・宇野幼 教室入口扉塗装改修	1,034
	・田井幼、荘内南幼 便所改修	748
給食センター整備事業	・新給食センター施設整備	1,246,536

令和4年度 社会教育施設の施設整備等

主要事業	内容	決算額 (千円)
公民館整備事業	・八浜公民館 外壁改修	7,348
	・田井公民館 空調設備改修（債務負担行為）	5,800
体育施設整備事業	・総合体育館 地下オイルタンク修繕 非常用発電装置修繕	3,312 2,090
	・総合運動公園 高圧受電設備修繕	2,622

学識経験者による意見

■ 玉野市教育振興会 会長 三浦 康男

コロナ禍がやや落ち着いてきたとはいえ、財政的に相変わらず厳しい折、計画した事業や計画を工夫しながら、令和4年度も児童・生徒達の健全な育成を目指していることに対し感謝申し上げます。さらなる充実を期待して、主な事業についてコメントいたします。

○地域子ども楽級推進事業

評価はBですが、協力者が子ども楽級の延べ約5,000人、おさらい会が約1,000人と多く、県下でも成果を上げているのはありがたいと思います。各学級で例年通りではなく、学校で経験できないような事業に取り組んでおり、この事業のねらいが達成されていると思います。協力者、コーディネーターの高齢化をどのように解決していくかが、今後の課題と思います。

○玉野市子ども会連絡協議会研修事業

児童数・子ども会の数が年々減少する中、事業について内容を見直す必要が出てきていると思います。従来と比較して、事業が思うようにできなくなっていることが、評価Cにつながっていると思います。

○放課後児童クラブ管理運営事業

市内全小学校に開設しており、保護者からも大変好評です。在籍児童数も毎年増加しており、保護書の期待の表れだと思えます。更なる充実を期待します。

○適応指導教室運営事業

世の中が年々複雑化し、コロナ禍の影響もあり不登校の子どもが増加し、この事業に期待することが多い。相談や適応指導教室への子ども達の人数の増加にもかかわらず、きめ細かい支援をしていただいた結果、卒業後全日制など通級生全員が高校に進学しており、効果が上がっていると実感しています。

○学校における食育の推進

給食指導の在り方やアレルギーなどの体制等について協議する、食育推進検討委員会を開催しており、検討された結果を学校現場に伝えるなど、更なる充実を期待します。

○中学校区一貫教育の充実

複数の小学校から児童が進学してくる中学校の先生から、小学校により指導に温度差があり、中学校での指導が難しいとの意見があったが、中学校区一貫教育を実践していただき指導に効果があったと思います。将来について考えるキャリア教育と学力向上を柱にした中学校区一貫教育は、大変意義あるものと考えます。幼稚園や保育園と学校との接続にも力を入れていただき、ありがとうございます。

○未来の学校・園づくりの推進

社会が急速に変化する中で、未来の学校・園づくりについて考えることは、大きな意義があると思います。中学校区一貫教育が進む中、教員だけでなく児童生徒も校種を超えた交流を進め、新しい学校・園について議論を深め、その結果を実践に結びつけてほしいと思います。

○各種研修会の実施

若い教員の増加、さらには教員を志望する人の減少など人材確保と資質向上が大きな課題となっています。この事業を通して、更なる教職員の資質向上を図ってほしいと思います。

○幼児教育推進体制の充実・活用強化事業

以前は、指導内容や管轄の違いから、本市においても幼稚園は教育委員会、保育園は市長部局と管轄が異なっていたが、今は就学前教育課に統一され指導がしやすくなったと思います。保育園と幼稚園の教員の人事交流も進んでいます。それぞれの良さを生かし、ともに小学校に進む幼児の教育に尽力をいただきたいと思えます。

○一時預かり事業の実施

小学校における放課後児童クラブのように、保護者の事情により一時的に保育ができない家庭が増えていきます。そのような状況を踏まえ、保育園、認定こども園、幼稚園ともにこの事業を実施していただき、利用者も増加しています。更なる充実をお願いしたいと思います。

○病児保育事業の実施

病児をかかえる保護者にとって、玉野市民病院に委託して県内の18市町村において市域を越えて病児保育に対応している事への感謝の気持ちは多い。市民病院だけではなく、他の施設にも拡充を図ってほしい。

■ 玉野市PTA連合会 会長 中塚 俊道

平素より教育に関する様々なことにご尽力いただけていることに感謝申し上げます。

この度、令和4年度の教育委員会の事務に関する点検・評価の報告を受け、玉野市教育委員会が「玉野市総合計画」に基づいた、人間尊重の精神を基調とした生涯学習社会の実現を目指していることが、良く分かりました。

さらに、未来を担う子どもたちを育む「地域の教育力」を学校・家庭・地域で協力し高めていく活動を推進していくことに感謝し、あらためて御礼申し上げます。

重点施策Ⅰ 心かよいあう家庭・地域社会の教育力充実

少子化の今、就学前の子ども達、保護者が安心して楽しく過ごせる場所の充実することを願います。しかし、義務教育を経て大人になるまでのさまざまな事業が、前年度よりA評価が多いのは素晴らしいと思います。次年度はC評価がなくなることを期待します。

重点施策Ⅱ 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

不登校の児童生徒は減ってきているように聞いています。これも教育委員会のおかげだと思います。

また、中学校区一貫教育の取り組み、理解いたしました。満足できる成果だったのだと思いますが、玉野市で教育を受ける児童生徒は、中学校区だけではなく、玉野市のどの地域であっても教育する側、教育される側のどちらも同じであるべきだと私は考えています。色々な課題はあると思いますが、子どもたちの為にも、よろしく願いいたします。

重点施策Ⅲ 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

生涯学習の振興の為、たくさんの事業をされていることに感謝いたします。コロナが落ち着きを見始めた4年度は少しずつ各事業での参加が増えてきているように思います。しかし、毎年同じように感じる事業も多くあるのではないのでしょうか。良いことを続けることは大切だと思いますが、新たなことで、新しく参加する人が増えれば、さらに生涯学習が充実するのではないかと思いますので、よろしく願いいたします。

今後も私たちPTA連合会は、玉野市教育委員会と力を合わせて活動をしていきますので、よろしく願いいたします。

■ 玉野商工会議所青年部 事業委員会委員長 加藤 優子

「令和4年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」の説明を受け、コロナ禍を経て、様々な工夫を凝らして安心、安全に玉野市の子どもたちに貴重な経験や体験ができるよう甚大な努力が伺えたこと、心より感謝申し上げます。

全体的な評価もA、Bが殆どと、顕著な活動をされていること素晴らしいと思いました。その上で、さらなる飛躍、充実を期して、いくつかの事業についてコメントいたします。

○家庭教育支援事業

私自身が「親育ち応援学習プログラム」のファシリテーターとして活動させて頂いている関係で、もっと講座数を増やして多くのお母さんに届けられるよう推進していただきたいと思っています。

○子育て支援情報の提供

公的な場所の情報は、ふれあいセンターや児童館等での発信で届くと思いますが、民間の子育て情報はなかなか自分で取りにいかないと見つける事が難しい状況です。公・民が手を携えて子育てする親御さんの支援をして行くことこそが、質の良い支援につながると思っています。プラットホーム的な掲示板を作り、そこに有償でも民間の支援サービスの掲示等をする等も、今後取り入れて欲しいと思っています。

○中学校区一貫教育の充実

中学校までは、このような取り組みがありますが、この取り組みを是非市内の公立高校にも引き継いで、高校まで市内で十分な教育、進学や就職にしても安心して育ていける教育環境があると安心できると思います。難しい部分ではありますがよろしく願います。

○玉野市立学校文化・芸術活動等育成事業

昨年度は申請が無かったとの事ですが、せっかく予算があり頑張る生徒さんを応援しようという事業なので、今一度周知の方法も含め検討していただければと思います。

○施設整備等

今年の夏も本当に暑かったです。学校の教室はエアコンをつけて頂いて本当にありがたいです。しかしながら、体育館にまだ設営が無いので、スポーツをするにも命がけ、という状況です。真夏の部活やスポ少の活動時に少しでも負担が減るようにしてもらいたいと考えています。またこれは屋内のスポーツだけが対象ではなく、屋外のスポーツの団体も筋トレや基礎トレーニングに使えたり、学校の集会時にや体育の時間にも有効だと思います。音楽室や理科室にももちろん必要だと思いますが、体を動かし熱中症の危険性がある体育館こそ、教室に次いで優先順位は高いのではないかと考えます。今一度再考頂ければと思います。

行政をはじめとし、家庭、学校、地域全体で健全、安全に子供たちを育てる環境を作りたいと心から願っております。今後も引き続き素晴らしい事業展開と玉野市教育委員会の益々のご発展をお祈りしております。

玉野市民憲章

瀬戸内の美しい自然に恵まれた私たちは、郷土の発展とおたがいの幸福を願って、この憲章を生活のささえとします。

- 1 健康で、明るくはたらきましょう。
- 2 みんな仲よく、助けあいましょう。
- 3 きまりを正しく、守りましょう。
- 4 緑と花のまちを、育てましょう。
- 5 世界に伸びる玉野を、つくりましょう。

市花 『つつじ』



市木 『ば べ』



市魚 『めばる』

